

○11月モニターレポート

日時:2012年11月25日(日) 14:00~15:00

天気:晴れ

区間:矢作川右岸 36.5km~37.3km

11月のレポートです。よろしくお願いします。

この区間から明治用水頭首工に向け、だんだんと流域を広げる矢作川です。

また、自然な川の様相がうかがえる区間でもあります。

川辺に人工物は少なくなり、川の両サイドは木や草で覆われています。

そして、右岸の堤防沿いの道はというと、道幅が急に細くなり、一部の生活道路といった具合に交通量も減ります。

そんな訳で以前よりレポートしてきた区間とは、だいぶ印象が違っていました。

散策した日は、比較的暖かな秋晴れの日で風もほとんどありませんでした。

川の流れは無く、そのため、紅葉した木々が川面に鏡のように映っていました。

おかげでとても気持ちよく川辺の散策ができました。

しかし、そんなきれいな風景とは逆に、気になる所がありました。

川の一部に流れが滞るポイントがあり、そこにゴミや油膜といった汚れが溜まっているのが見受けられました。

それを見て、改めて川は一本につながっていると実感しました。

目の前の川のまわりがいくらきれいでも、それより以前で川を汚せば、いくらでも川は汚くなってしまうということです。

上流の一部でも川を汚染すれば、その被害は下流に多大な影響を及ぼします。

それどころか、川⇒海⇒雲⇒雨⇒山⇒川と水が循環するサイクルを考えれば、

その全てにおいて関係してきます。

このぐらいなら大丈夫とか、自分とは関係ないところは汚れていてもかまわないし気にならない、といった考えは改心してほしいと思いました。

空と紅葉が汚れた川面にゆがんで映っており、それは、自然が与えてくれる恩恵に対して、私たちは反対の行為で返しているような気がしました。

以上、報告申し上げます。

